



# いのち

平成25年6月25日 第53号

発行：勇気の会 企画広報事業部

住所：津市島崎町3-1（ねり製品組合内）

TEL：059-226-8406（Fax 兼）

Eメール：inochi@lily.ocn.ne.jp

## 桑員支部益々頑張ります！！ 桑員支部長 中村 実穂

平成25年度より、桑員支部のメンバー4名が、説明員になりました。

説明員の依頼を受けた理由は、啓発活動をしている際、もっと知識が必要だと感じたからです。

骨髄移植推進財団から委嘱状や関連書類が届き、その書類の内容や書類の多さを見て、気が引き締まる思いがし、説明員となることで、一層責任感が増したような気がします。

まだまだ骨髄提供希望者の数は不足しているということですので、今後も今まで以上に普及活動に精進したいと思った次第です。

桑員支部の主な活動は、年に数回の啓発活動と例会です。

メンバーは少ないですが、その分結束力も強く、和気藹々と活動しております。

ただ、啓発活動の際、日程の関係でその日に活動できないメンバーもいます。もう少し人数がいたらいいなとも思います。

我こそはと思われた方、一緒に活動しませんか？



### 説明員とは・・・

財団法人骨髄移植推進財団が、2001年4月1日より施行した制度です。

骨髄ドナー登録において、登録希望者の受付、理解程度と意思の確認、登録要件や必要書類の記入のしかたについて説明を行い、登録手続きを行う要員として審査のうえ、財団より依頼状、および説明員証明書の発行を受けた方をいいます。

### 説明員の資格・・・

- ① 基礎知識セミナーを受講すること
- ② 説明員養成研修（講義、ロールプレイング、基礎理解度テスト）を受講すること
- ③ 登録会に1回以上参加し、実地研修を行うこと
- ④ 上記研修をすべて修了したのち、推薦人による説明員認定チェックを受け、説明員として推薦を受けること

など様々な資格が必要となり、委嘱期間は原則として2年間とし、要件を満たした場合は更新が可能となります。

## 平成25年度勇気の会総会開催延期のお知らせ

例年であれば、総会開催時期は6月～7月に実施しておりましたが、前年度からの懸案事項となっております勇気の会の特定非営利活動法人化について、役員及び事務局にて、早期設立を目指すために様々な準備作業を行っております。そのため、総会においての法人化移行に伴う議案提出を行いたいと考えております。

従いまして、各手続きの都合上、今年度の総会を9月中旬開催目標として準備を行っておりますので、日程などが決定致しましたら、

ご案内させていただきます。

また、総会開催までの予算執行につきましては、前年度の予算執行と同様に執行させて頂く予定としておりますので、重ねてご報告をさせていただきます。



事務局 河村 誠

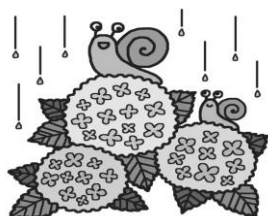
## 平成25年度勇気の会会費について

勇気の会の運営にご賛同頂きありがとうございます。

今年度の会費につきましては、総会のご案内送付時に振込用紙を同封させていただきます。

また、振込用紙以外での振込をご希望の方は、下記口座への振込をお願い致します。但し、こちらからの郵送の振込用紙以外の会費納入は、振込手数料が発生致しますのでご了承ください。

今年度も会の活動にご理解とご協力を、賜りますようよろしくお願い申し上げます。



### 【銀行振込の場合】

百五銀行県庁支店（普）121298 勇気の会  
会費 個人会員一口 1,000円（何口でも可）  
法人会費一口 3,000円（何口でも可）

## 勇気の会のボランティアを募集しています。

一人でもたくさんの方と共に活動して行きたいと考えています。勇気の会発足から20年以上が経ち、勇気の会もいよいよNPO法人化を目指します。是非「力」お貸しください。

## 骨髄の提供者と勤務先に奨励金 ～松阪市が交付へ～

松阪市は骨髄移植を推進するため、7月から骨髄の提供者と提供者の勤務先に奨励金を交付することになりました。市議会定例会に提案した一般会計補正予算案に事業費 36 万円を計上されています。

奨励金は、市民と市内の事業所対象で、提供者に1日2万円、勤務先に1日1万円で最長で7日間助成するとのこと。

骨髄の採取には3～5日の入院と二日の通

院が必要で、家族や職場の同意が得られず、骨髄提供希望者の四割が提供を断念している現状がある。奨励金の導入で提供者や勤務先の負担を減らし、骨髄移植を推進する狙いがあるようです。

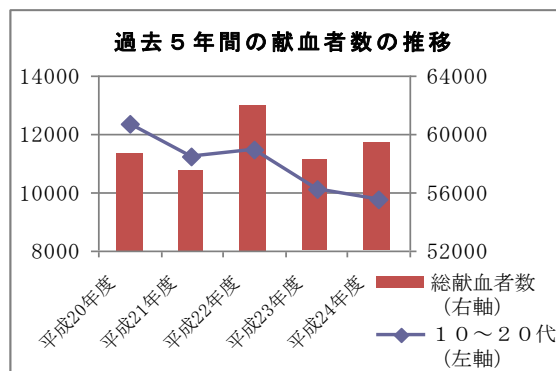
県内では名張が本年度から助成しており、今後もこのような取り組みが県内で益々増えていけば、骨髄バンクへの意識が高まり、助かる命が一人でも増えると期待しています。

## 今、若い献血者が減っています

三重県では、年々、献血者が減少しています。特に「若年層」と呼ばれる10～20代の献血者数は、この5年間で約2,600名も減っており、(右図参照)10～20代の献血率が全国最下位となってしまいました。将来の輸血医療を支えるこの世代の献血者を増やすため、全国的に様々な対策がとられています。

三重県では、今年2月に三重県学生献血推進連盟「みえっち」を立ち上げ、大学生メンバーが献血会場での呼びかけ、イベントの開催等、若い力で献血活動を盛り上げています。また、若年層献血者を対象としたプレゼント

キャンペーンや、高校を訪問し、映像やお話で献血や血液の事を知っていただく献血セミナーも実施しています。



三重県赤十字血液センター献血推進課

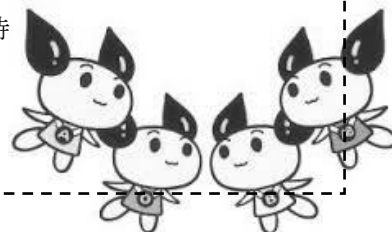
## 献血ルームのご案内

- ◆ 三重県赤十字血液センター TEL(0120)05-5632 休日/土曜日  
津市桜橋2丁目191番地 【津駅東口から海岸方面へ徒歩12分(約600m)】  
受付時間/●200ml、400ml献血 9時～11時45分、12時45分～16時30分  
●成分献血 9時～11時、12時45分～16時
- ◆ 献血ルームハートワン TEL(0120)25-7821 休日/金曜日  
伊勢市船江1丁目471-1 ショッピングセンターミスター伊勢  
受付時間/●200ml、400ml献血 10時～11時45分、13時～17時30分  
●成分献血 10時～11時、13時～17時
- ◆ 献血ルームサンセリテ TEL(0120)39-5863 休日/火曜日  
四日市市諏訪栄町6番地4号 近鉄四日市駅前「スターアイランド」4F  
受付時間/●200ml、400ml献血 10時～11時45分、13時～17時30分  
●成分献血 10時～11時、13時～17時

### 【お問い合わせ】

三重県赤十字血液センター献血推進課 渉外係

TEL 059-229-3582



## ドナー登録者等の状況

☆2013年5月末現在☆ 骨髄バンクを介した骨髄移植数：累計15,598

|     | ドナー登録者数 |       |         | 患者登録数 (海外含む) |       |
|-----|---------|-------|---------|--------------|-------|
|     | 5月      | 減少数   | 登録者数    | 累計登録数        | 現在登録数 |
| 三重県 | 2       | 9     | 4,437   | 437          | 20    |
| 全国  | 2,622   | 1,284 | 432,108 | 38,803       | 2,891 |

## 「骨髄バンクシリーズ」読売巨人軍が実施 杉内投手もポスター制作で支援

読売巨人軍には「助かる命を助けよう！」をスローガンに、2006年から骨髄バンクをご支援いただいています。今年も東京ドームの主催4試合（6月5日、6日の日本ハム戦、8日、9日の楽天戦）で「骨髄バンクシリーズ」を実施していただきました。

バンクを通じて骨髄移植を受けた元患者さんの始球式、オーロラビジョンを使った原監督によるドナー登録呼びかけビデオの放映などの他、コンコース内ではドナー登録説明会（5日、6日）、ドナー登録会（8日、9日）も開催し、24人にドナー登録していただきました。



また、チャリティグッズを販売し、収益の一部が当財団に寄付されます。今年は「骨髄バンクタンブラー（写真左下）」で、9月のシーズン終了までジャイアンツショップオンライン、TODO ショップ、東京ドーム内特設ワゴンにて販売されます。（税込 1,000 円）一方ドナー登録をされている杉内俊哉投手には、ソフトバンク時代から「骨髄バンク普及ポスター」を自費制作していただいておりますが、今年も新しいポスターが完成しました。（写真右下）

ご希望の方は下記までお問い合わせください。



お問い合わせ先：（公財）骨髄移植推進財団 広報渉外部 03-5280-8111

## 「映画で命を救う」当企画に是非ご協力ください

平成 23 年 9 月 29 日に発足したボランティア団体「骨髄バンク普及映画を作る会」をご紹介します。

この会は、ドナー登録者数を増やし、移植を希望する全ての患者さんに適合するドナーが見つかるようにしたいという共通の思いを持った会員が、全国より集まり活動されています。

これまで行ってきた普及活動を通じ、骨髄バンクに全く関心の無い人々の存在が多いことを実感し、そういった人達に自然な形で骨髄バンクの必要性を知っていただける方法は無いかと考えた結果、娯楽性の高い映画を製作し全国劇場公開することで、広く長期間に渡って訴求してゆくことを計画されたそうです。

『骨髄バンクが買っている「ひたむきに命を救う姿勢」や、相手が誰かも知らずに自身の骨髄液を提供する骨髄提供者さんの「無償の愛」は、映画として描かれるのにふさわしいテーマである。白血病をはじめとする血液難病は、いつ、誰が発症してもおかしくない病気であり、この治療法として有効と言われる骨髄移植のための対策を講じることは、確実に国民全体の利益に繋がる。私達が製作する映画を通して、一人でも多くの命が救われることを望んでいます。』と訴えています。

詳細は骨髄バンク普及映画を作る会のホームページをご覧ください。

<http://kotsuzui-eiga.org/index.htm>